

# 教 育 長 事 務 報 告

月 日	行 事 名	場 所
7月22日（水）	教育委員会定例会	市役所本庁舎
	学校給食運営委員会	南部学校給食センター
7月27日（月）	北上・みちのく芸能まつり運営委員会	市役所本庁舎
7月29日（水）	コミュニティスクール等推進検討委員会	市役所本庁舎
7月30日（木）	（株）岩手ヤクルト工場寄附	市役所本庁舎
	社会教育委員会議	市生涯学習センター
7月31日（金）	教育委員会臨時会	市役所本庁舎
	市長・副市長と教育委員との意見交換会	市役所本庁舎
8月3日（月）	北上市防災会議	市役所本庁舎
8月4日（火）	第1回教育振興基本計画策定検討委員会	市役所本庁舎
8月5日（水）	飯豊中学校「まごころ募金」寄附	市役所本庁舎
8月6日（木）	北上市議会 全員協議会	市役所本庁舎
8月7日（金）	北部交流館 落成式	北部交流館
	2021年周年記念事業PRスタートイベント	中央図書館
8月18日（火）	コミュニティスクール等推進検討委員会	市役所本庁舎
	後期計画の策定に向けた地域検討会議	県立生涯学習推進センター
8月20日（木）	北上市議会 第255回臨時議会、全員協議会	市役所本庁舎
	地域教育力向上推進委員会	市生涯学習センター
8月21日（金）	東部地区統合小学校建設プロポーザル	市役所本庁舎
8月24日（月）	子どもの読書活動推進委員会	市生涯学習センター
	岩手県と北上市との政策協議	北上地区合同庁舎
8月25日（火）	学校法人北上学園連携協定締結式	市役所本庁舎
	市内小中学校長会議	市役所本庁舎
8月26日（水）	教育委員会定例会	北部交流館
	図書館協議会	中央図書館

## 8月 教育長事務報告

今定例会では、

- 1 7月22日(水) 北上市学校給食運営委員会
- 2 8月4日(火) 第1回北上市教育振興基本計画策定検討委員会
- 3 8月7日(金) 2021年周年記念事業PRスタートイベント
- 4 8月18日(火) 後期計画の策定に向けた地域検討会議  
と、事務報告にはありませんが、
- 5 各種大会・コンクールの結果、叙位・叙勲  
以上5件について報告いたします。

### 【学校給食運営委員会】

- 1 日時 令和2年7月22日(水) 15:30~17:00
- 2 場所 南部学校給食センター
- 3 所感

この運営委員会は、4月からの「給食費の公会計化」と「南部学校給食センターの供用開始」に合わせ、これまで3センター毎に開催していた運営委員会を、効率化を図るために、今年度から一本化したものです。また委員には、従来の学校・保護者代表に加え、学校医・関係行政機関職員(中部保健所)・知識経験者(中部農業改良普及センター)を含めた19名の委員で構成され、委員長には高橋亨北上北中学校長が選出されました。

報告では、南部・北部・西部学校給食センターの4月からの運用状況やアレルギー対応食の提供、センター内炊飯など、新たな取組について説明があり、協議では今年度の「学校給食事業の基本方針」並びに「事業計画」について話し合わせ、委員から出された貴重なご意見やご質問につきましては、今後の運用に生かしていきたいと考えております。

なおこれまでは、配送校の代表者が必ず3センターの運営委員に含まれており、決定事項をそれぞれの職場に持ち帰り情報共有しておりましたが、今後はすべての配送校から出席があるわけではないので、話し合いの内容を共有するためにも、会議資料の配布等により対応していきたいと考えております。

### 【第1回教育振興基本計画策定検討委員会】

- 1 日時 令和2年8月4日(火) 9:30~11:00
- 2 場所 本庁舎5階
- 3 所感

今年度策定予定の、次期北上市教育振興基本計画の第1回策定検討委員会が、各分野・団体から推薦された14名の委員の出席で開催されました。委員長には奥山則男氏が、委員長職務代理者には今西界雄氏が選出され、策定方針や策定方法等【資料1】について慎重に協議していただきました。今後はパブリックコメントや全6回の検討委員会を経て、2月の教育委員会定例会で議決する予定となっております。

### 【2021年周年記念事業 PR スタートイベント】

- 1 日時 令和2年8月7日(金) 11:30~12:00
- 2 場所 中央図書館
- 3 所感

このイベントは、来年の「Kitakami Triple Anniversary 2021」(「展勝地開園 100 周年」「第 60 回北上みちのく芸能まつり」「市制施行 30 周年」)に向けた PR 活動の開始を記念して開催されました。イベントでは高橋市長の挨拶の後、黒沢尻幼稚園児の歌や出席者によるバルーンリリース、図書館内の階段アートでの記念撮影を行い、来年に向けた盛り上がり期待しました。

このほか、市内各所に大型懸垂幕や吊り下げフラッグ、大型フラッグ、PR ポスター、顔はめパネルなどを設置し、市民の皆さんに来年の記念すべき年を大いに PR していきます。

なお、北上市の公式ホームページ上では、合併から 30 年となる 2021 年(令和 3 年)4 月 1 日をこの周年行事の基準日とするカウントダウンを掲載しており、本日(8/26)で「あと 218 日」となります。



### 【後期計画の策定に向けた地域検討会議】

- 1 日時 令和2年8月18日(火) 14:00~16:00
- 2 場所 県立生涯学習センター
- 3 所感

この会議は、県教委が提起する「新たな県立高等学校再編計画」について協議するために、平成 30 年度から県内 9 ブロックに分けて開催されている会議です。今回は、岩手中部ブロック(花巻市、北上市、西和賀町)4 回目の会議として開催され、2 市 1 町から首長、教育長、PTA、教育・産業関係者ら 16 名の出席と、オブザーバーとしてブロック内の県議会議員、県立高等学校長が同席し開催されました。

今回の計画案は、第 1 回から第 3 回の各ブロックの会議で出された意見を基に、新たに今年の 2 月に後期計画案として提起されたもので【資料 2】、基本的な考え方として「生徒の希望する進路の実現」「地域や地域産業を担う人づくり」が掲げられ、多くの出席者からは賛同する意見が出されました。このほかに、「1 学級校の存続条件の見直し」「人材育成」「中高一貫校の新設」など様々な意見が出され、今後もさらに計画案の見直しが必要と感じたところです。

### 【各種大会・コンクールの結果】

- 1 第 66 回全日本中学生通信陸上競技大会岩手県大会(R2. 8. 8~9)
- ◇ 男子 <1 年 100m> ①小菅虎太郎(上野中)12.76  
<1 年 1500m> ①山下蒼(北上中)4:41.33  
<共通 3000m> ①中野颯人(北上中 3 年)9:14.55

<共通砲丸投> ①上野天空翔(江釣子中3年)13m61

◇ 女子 <1年100m> ①新田里穂子(北上中)13.44

<3年100m> ①佐々木陽彩(江釣子中)13.02

<共通4×100m> ①北上中(宇夫方和、多田心春、新田里穂子、齋藤沙羅)51.02

<共通砲丸投> ①藤原陽向(北上中2年)1m54

※ゴシック…全国大会出場(アシックスチャレンジカップ：成績を集計し順位をつける)

**【叙位・叙勲】**

- 1 故高橋 渉氏(84歳)…瑞宝双光章・従六位 令和2年2月17日 8/6 伝達
- 2 故阿部義雄氏(93歳)…正六位 令和2年4月15日 8/6 伝達

以上で事務報告を終わります。

## 北上市教育振興基本計画 策定方針

現行計画の終期が令和2年度となることから、令和3～12年度を計画期間とする新たな計画の策定方針を協議するもの。

### 1. 計画の位置付け

#### (1) 関連上位計画の策定状況

- ①第2次北上市教育大綱（R元～4年度）  
市長が地域の実情に成し、教育、学術及び文化の振興に関して定めた総合的な大綱
- ②北上市総合計画（R3～12年度）
  - a.基本構想（策定済）
  - b.基本計画（R3～12年度、策定中）  
今後の予定：R2.6パブリックコメント、R2.8審議会答申、R2.9議決



#### (2) 関連諸計画の策定状況（下総計画はR2年度中の策定または中間見直し）

- ①楽しく子育てができる環境（以下の分類は、教育大綱に沿ったもの）  
北上市子ども・子育て支援事業計画 R2～6（策定済、法義務、子育て支援課）
- ②実践を通じた生涯学習
  - a.北上っ子生涯活動推進プラン H28～R2（法努力、生涯学習文化課）
  - b.北上市地域教育力向上基本計画、行動計画 H26～R2（任意、生涯学習文化課）
  - c.北上市立図書館基本運営方針 H28～R2（法努力、図書館）
- ③視野の広いスポーツ環境  
北上市スポーツ推進計画 H28～R7（R2中間見直し、法努力、スポーツ推進課）
- ④芸術文化振興の確かな基礎
  - a.北上市多文化共生指針 H28～R7（R2中間見直し、任意、生涯学習文化課）
  - b.(新)北上市文化芸術基本条例（仮称） R3～（法努力、生涯学習文化課）

### 2. 現状と課題

#### (1) 北上市総合計画基本構想（R3～）における整理

- ①人口、世帯の構造変化  
人口減少、少子高齢化の進行、外国人の増加、世帯の小規模化
- ②社会の変革  
第4次産業革命の到来、脱炭素社会の推進、世界と結びつく国民生活、持続可能な開発目標
- ③くらしの変化  
人生100年時代の到来、共生社会の形成、安全・安心を守る対策の推進
- ④社会の変化に対応する地方自治の変革  
一徳総活躍社会の形成、市民参画の深化、スマート自治体の推進、広域連携の推進

#### (2) 現教育振興基本計画（～R2）における整理

- ①人口減少、少子高齢化の進行
- ②生活意識の変化と価値観の多様化
- ③国際化の進展
- ④環境問題への新たな取り組み
- ⑤高度情報化社会の進展
- ⑥分権型社会への移行

（参考）R2教育行政施策の基本方針における整理  
・更に加速しながら発達し続けている情報化社会  
・「スマホ依存」若年層の増加、SNS等Webを巡るトラブルの発生、情報環境の違いによる地域格差や、新たな経済格差が生じる事が大きな問題

現行施策による達成状況を評価し  
今回策定計画へ反映

R2.6.23 令和2年第9回北上市教育委員会定例会 協議第22号資料  
北上市教育委員会 教育部 総務課

### 3. 策定方針案

#### (1) 北上市総合計画における基本目標【ひと】「未来に輝く、未来を創る人づくり」に 沿い基本目標、方針を整理する

- 基本方針1 未来に輝く人づくり
- 基本方針2 未来を創る人づくり
- 基本方針3 すべての世代が活躍出来る環境づくり

#### (2) 第2次北上市教育大綱における基本目標「人づくりこそ地域発展の源 誇りをもって 地域を担う人材の共創」に沿い基本目標、方針を整理する

- 基本方針(1) 楽しく子育てができる環境
- 基本方針(2) 誇りを育てる学校教育
- 基本方針(3) 実践を通じた生涯学習
- 基本方針(4) 視野の広いスポーツ環境
- 基本方針(5) 芸術文化振興の確かな基礎

#### (3) 現在の社会背景を踏まえた課題を設定する

- ①北上市総合計画基本構想における整理（再掲）
  - ②R2教育行政施策の基本方針における整理
    - a.取り巻く環境や社会の本質を見抜き、互いに支え合う力を身に付けた人材
    - b.国際的視野とコミュニケーション能力を持ち、社会の変化に対応しつつも主体的に行き抜く力を持った人材
- こうした人材をかくむため、子どもたちの人々に感銘する気持ちや思いやりの心を継承し、生涯にわたる一人ひとりの命が尊重され、いきいきと輝く地域社会の形成を目指す

#### (4) 計画期間

令和3年度から令和12年度を目指す

#### ↑ (1)北上市総合計画を基に、(2)第2次北上市教育大綱及び(3)現在の社会背景を 踏まえた策定とする

### 4. 策定方法

#### (1) 検討組織

- ①北上市教育振興基本計画策定検討委員会  
社会教育委員等の教育関連組織、校長会等の教育機関、自治組織連絡協議会等の地縁団体から推薦された方々（15名）により、当該計画案に対する意見を伺う。
- ②北上市教育振興基本計画策定幹事会  
幹事を教育部長とし、関係課長により計画案を作成する。

#### (2) 策定日程

- ①策定方針の決定  
6月23日 教育委員会定例会（6月8日 三役協議）
- ②計画内容の協議  
7月～2月 検討委員会（全6回、計画案協議、現計画評価、パブリックコメント協議及び報告）  
11月17日、1月27日 総合教育会議（パブリックコメント協議及び報告）
- ③パブリックコメント  
12月18日～1月7日（12月18日 市議会全員協議会）
- ④議決  
2月24日 教育委員会定例会

【資料1】

## 新たな県立高等学校再編計画 後期計画（案）の概要

### 「新たな県立高等学校再編計画」（平成28年3月策定）

県教育委員会では、適切な教育環境の整備を図るため、平成28年3月に10年間の県立高校再編計画を策定し、これまで、前期計画の着実な推進とともに、後期計画の策定に向けた取組を推進。

#### 10年間の高校再編計画

前期計画  
(平成28～令和2年度)

後期計画  
(令和3～令和7年度)

### 1 県立高等学校の現状と課題

#### (1) 少子化による生徒数の減少

今後、県内全域の学校規模がさらに縮小することから、各学校における教育の質を確保する必要がある。

#### (2) 盛岡ブロックへの志願者の集中

比較的規模の大きい公立・私立の学校が設置されている盛岡市内に志願者が集まり、特に盛岡市内の県立高校の志願倍率が高い。

#### (3) 地域社会を担う人材の育成

地域社会に貢献する意識を醸成する教育を推進し、将来、地域で活躍し、地域を支える人材を育成することが重要となる。

#### 本県の中学校卒業生数の推移



### 2 本県の施策に基づく後期計画

#### (1) 高等学校教育の状況

岩手の未来を拓く子どもたち一人ひとりの人格の完成と夢の実現を支え、新たな社会を創造する担い手として育てていくために、いわて県民計画や岩手県教育振興計画に基づき、県内すべての県立高校が活力を有した魅力ある学校づくりを推進。

#### (2) 地域や産業界と高等学校教育のかかわり

本年3月策定予定の第2期岩手県ふるさと振興総合戦略に基づき、岩手の将来を担う子どもたちを育て、地域や地域産業を担う人づくりを推進。



### 3 後期計画の策定に向けた主な取組

#### (1) 地域の方々との意見交換の実施 (H30～R1)

地域の実情や社会情勢の変化等を考慮した検討を進める必要があることから、県内9ブロックにおいて、「後期計画の策定に向けた地域検討会議」等を開催し、高校教育のあるべき姿や地域の実情に応じた学校・学科の配置等について、各市町村長をはじめ、市町村教育委員会教育長、地域の産業界及びPTA、地区中学校長会の代表等、地域の方々との意見交換を実施。

##### 【地域検討会議における主な意見】

- ・ 地域を担う人材育成の観点から、小規模校であっても存続が必要。
- ・ 現在設置されている学科を維持し、地域で学ぶための教育環境を守るべき。
- ・ 盛岡ブロックへの一極集中を是正するため、盛岡市内の高校の統合を検討するべき。
- ・ 統合により通学が困難となる場合には、通学支援を検討するべき。
- ・ 少人数学級の導入による、高校教育の充実について検討するべき。
- ・ 将来のさらなる生徒数の減少を見据え、統合を積極的に進めるべき。

#### (2) 中学生の進路希望等に関するアンケートの実施 (H30)

中学生の進路や高校生活に関する考え方も参考に検討（対象：県内の中学校3年生全員）

#### (3) 生徒の多様な受入れのあり方に関する検討会議の実施 (H29～H30)

県外からの入学志願者の受入れ及び通学区域の在り方について検討

## 4 後期計画(案)の構成

I 再編計画の概要

II 前期計画の  
推進状況等

III 後期計画の方針

IV 後期再編  
プログラム

## 5 後期計画の基本的な考え方

県立高校の現状と課題を踏まえ、**教育の機会の保障と教育の質の保証**を柱としつつ、地域における学校の役割を重視した『魅力ある学校づくり』に向けて、高校再編を進めます。

### (1) 生徒の希望する進路の実現

生徒の進路実現に向けた、学力及び専門技術の定着・向上等

- ① 各ブロック内の学校規模をできる限り維持し、学びの選択肢を確保
- ② 進学や専門分野の深い学びを希望する生徒のため、一定の学校規模も維持

### (2) 地域や地域産業を担う人づくり

地域人材の育成等について高校の持つ役割の重要性や地域からの期待等

- ① 各地域の学校をできる限り維持
- ② 多様な分野の学びも確保し、産業振興の動向等を踏まえ、学ぶことができる教育環境の整備

## 6 後期計画の具体的な取組

各地域の実情や全県的な学校配置のバランスを重視し、次のとおり取組を進めます。

### (1) 各地域における学びの選択肢の確保 (原則として現在の学科、学級数を維持)

- ・ 1学級校の存在が地方創生の推進に必要となっている地域もあり、このような地域においては、所在する自治体と連携した教育活動の充実が進められている現状にあることから、後期計画期間中において一定の入学者のいる1学級校を維持。
- ・ 県政課題への対応、産業人材の育成を担う役割がある1学年7学級等の学校は、学校規模を確保。

### (2) 盛岡ブロックにおける大規模校の統合 (盛岡南高校と不来方高校の統合)

- ・ 県内各地域から生徒が集まる盛岡市内の高校への生徒の集中を緩和。
- ・ 生徒が学習活動や特別活動等で多様な価値観に触れながら切磋琢磨できるよう、体育、芸術、外国語等の特色ある教育を実践する学校については、学校規模の大きさを生かした発展的な統合を行い、さらに先導的な取組ができる教育環境を整備。

### (3) 地域の産業教育の拠点となる専門高校等の整備

**ア 県南地域における大規模な工業高校の新設** (水沢工業高校、一関工業高校、千厩高校産業技術科の統合)  
県南地域においては、規模の大きな工業高校として統合し、産業人材のニーズに幅広く対応できる工業教育を充実。

**イ 宮古ブロックにおける総合的な専門高校の新設** (宮古商工高校と宮古水産高校の統合)  
ブロック内の各専門分野に関する特色ある学科の機能を維持した統合により、複数の職業系専門学科を併置した「総合的な専門高校」として再編。

**ウ ニ戸ブロックにおける専門教育を担う学校の設置** (福岡工業高校と一戸高校の統合)  
ブロック内の各専門分野に関する特色ある学科等の機能を維持した統合により、地域の将来を見据えた専門教育の拠点となる学校として再編。

## 7 高校再編に関する基準等

下記については、前期計画の内容を継続します。

- (1) 周辺の高校への通学が極端に困難な学校の取扱い [特例校：葛巻、西和賀、岩泉]
  - ・ 近隣に他の高校がなく、他地域への通学が極端に困難な地域に所在する学校を特例校として維持。
  - ・ 1学級校については、直近の入学者が2年連続して20人以下となった場合には、原則として翌年度から募集停止、統合。
- (2) 岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の適用
  - ・ 入学で1学級定員(40人)を上回る欠員が生じた場合には、学級減を検討。

## 8 後期再編プログラム総括表

タイプ	年度	計画期間（令和3年度～令和7年度の5年間）					
		統合延期校	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
専門高校						【R7以降】 県南地域の 工業高校 水沢工業 一関工業 千厩（工業）	
総合的な専門高校						宮古商工 宮古水産	
普通科・専門学科 併置高校		遠野 ※1 遠野緑峰					
総合学科・専門学科 併置高校		久慈東 ※1 久慈工業			福岡工業 一戸		
普通高校						盛岡南 不来方	
学科改編 コース等見直し							
学級減			盛岡南	盛岡南	盛岡南		
全日制学校数 ※2			62	62	62	61	58
全日制学級数 ※2			224	223	222	220	215

※1 令和2年度の入試状況等により、統合時期等を判断することとしています。

※2 ※1による統合の状況により、変更となる場合があります。

## 9 後期計画期間後の再編の方向性

令和15年3月の中学校卒業予定者数は、令和7年3月の中学校卒業予定者数と比較して、さらに1,900人程度の減少が見込まれており、全県的な学校の小規模化が進行します。

- ・ 後期計画期間後の再編においては、学校規模を確保した上で教育の質を維持できるよう、さらなる統合の検討を進めていくことが必要。
- ・ 専門学科及び総合学科については、多様な専門分野を維持した上で教育内容の充実を図るためには、ブロックを越えて専門分野を集約する大規模な統合の検討を進めていくことも必要。

## 10 後期計画策定までのスケジュール

県民の皆様の御意見を広く伺いながら、令和2年度内の策定に向けて作業を進めます。

- ・ 令和2年2月～3月 「パブリック・コメント」
- ・ 令和2年5月頃 「後期計画の策定に向けた地域検討会議（第4回）」  
「県民との意見交換会（第2回）」
- ・ 令和2年度内 後期計画策定